

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		小学校運営費・中学校運営費 [小・中学校卒業祝記念品事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 2・3	小学校費、中学校費	目 1	学校管理費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課	庶務		係	課長名	斎藤 謙二郎			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 1				
【施策名】 学校教育の充実						総合計画書 (ページ)	31				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市立小・中学校の卒業生。			市立小・中学校の卒業生の児童・生徒数							
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
市立小・中学校の全課程を修了したことに対し祝いの記念品を渡す。			市立小・中学校の卒業生の児童・生徒数								
→											
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
市内小・中学校の義務教育修了を記念して、卒業生に対して記念品を授与する。 小学生：三色ボールペン・シャープペンシル 中学生：四色ボールペン・シャープペンシル			市立小・中学校の卒業生の児童・生徒数								
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	1,512	1,453	1,423					
	成果指標	②の数値	人	1,512	1,453	1,423					
	目標	②の目標値	人	1,512	1,453	1,423					
目標値設定の考え方											
卒業する全児童・生徒に対し、記念品を授与したい。											
活動指標		③の数値	人	1,512	1,453	1,423					
3 経費	事業費(実績)		円	1,672,550	1,283,040	961,686	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,672,550	1,283,040	961,686					
		特定財源(国・都・他)	円	0		0					
		(うち受益者負担)	円	0		0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	2,503,550	2,121,040	1,786,686						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化 特になし。										

事業名称	小学校運営費・中学校運営費〔小・中学校卒業祝記念品事業〕				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ	取組手法：			
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
特になし。					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	特になし。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	特になし。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
特になし。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 学校教育の充実					
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】 毎年、卒業記念品として、相応しい物品を選定する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
引き続き、校長の意見及び、教育長等の意向を踏まえ、卒業記念品として適切な物品の提供に努めたい。					